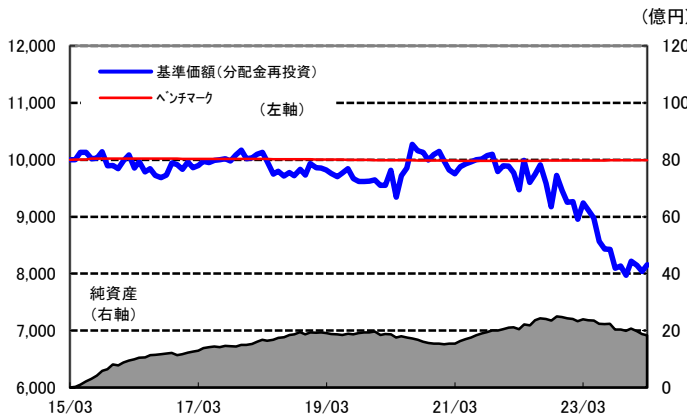


運用実績

2024年3月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 8,143 円

※分配金控除後

純資産総額 18.3億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率		
期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	1.5%	0.0%
3か月	-0.7%	0.0%
6か月	0.8%	0.0%
1年	-11.7%	0.1%
3年	-16.3%	0.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -18.4%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移	
2023年12月	0 円
2022年12月	0 円
2021年12月	0 円
2020年12月	10 円
2019年12月	0 円

設定来累計 20 円

設定来=2015年4月1日以降

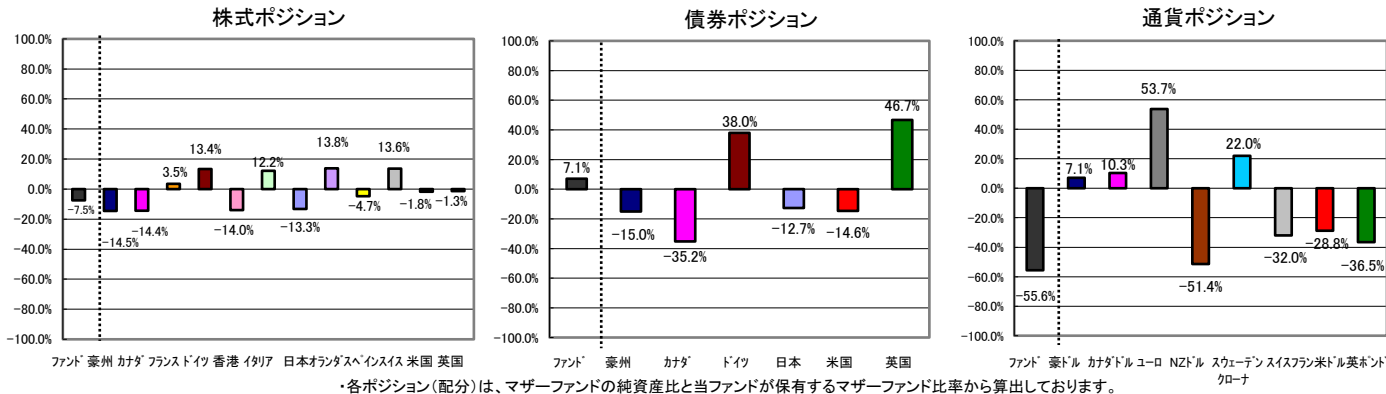
・当ファンドは、設定当初から日本円1か月LIBORをベンチマークとして採用していましたが、2021年12月30日適用で日本円1か月TIBORへ変更しております。ベンチマークの累積収益は旧ベンチマークと現行ベンチマークの各々の採用期間の騰落率をつないで算出し、設定日前日を10,000として指数化しております。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

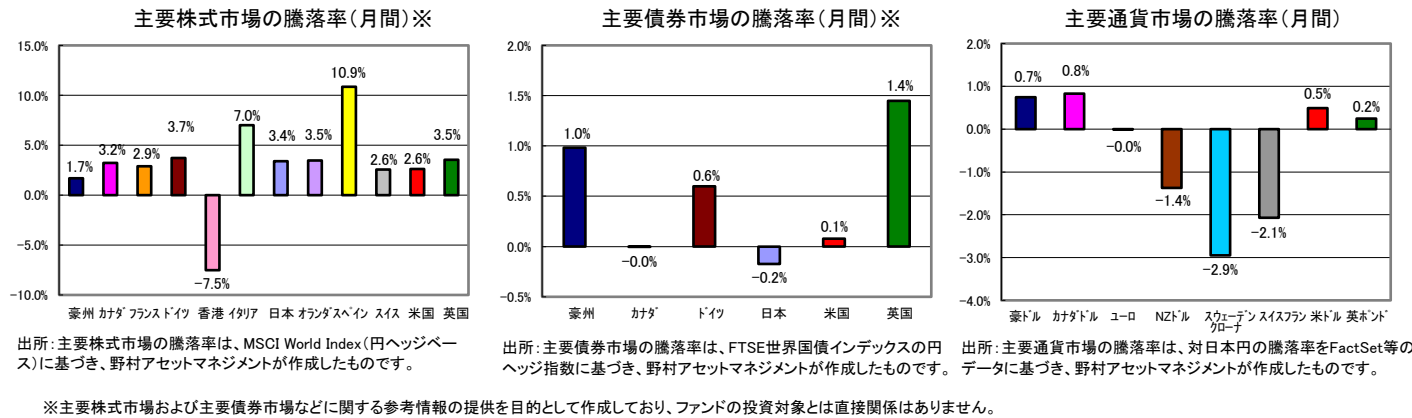
2024年3月29日 現在

組入資産状況(マザーファンド比率修正後)



・各ポジション(配分)は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

各市場の概況



出所: 主要株式市場の騰落率は、MSCI World Index(円ヘッジベース)に基づき、野村アセットマネジメントが作成したものです。

出所: 主要債券市場の騰落率は、FTSE世界国債インデックスの円ヘッジ指数に基づき、野村アセットマネジメントが作成したものです。

出所: 主要通貨市場の騰落率は、対日本円の騰落率はFactSet等のデータに基づき、野村アセットマネジメントが作成したものです。

※主要株式市場および主要債券市場などに関する参考情報の提供を目的として作成しており、ファンドの投資対象とは直接関係はありません。

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、株価指数先物取引、債券先物取引等を実質的な取引対象としますので、株価変動、金利変動等の影響により基準価額が下落することがあります。また、債券等を実質的な投資対象としますので、債券価格の変動等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。また、為替予約取引等を活用しますので為替変動の影響を受け、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、基本報酬額に成功報酬額を加算して得た額とします。 【基本報酬額】 ファンドの純資産総額に年0.99%(税抜年0.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【成功報酬額】 運用実績に応じた額(一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値を更新している場合のみ)とします。 ※成功報酬額は運用実績により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他の費用・ 手数料	組入有望証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、 その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.1%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがいり小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>

野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

株式市場* <主要国の株式市場は概ね上昇、香港株は下落>

欧州株はECB(欧州中央銀行)がインフレ率が一段と鈍化したとの認識を示し政策金利を据え置いたことや、3月のユーロ圏総合PMI(購買担当者景気指数)速報値が市場予想を上回ったことなどを背景に上昇しました。香港株は中国の全人代(全国人民代表大会)で大規模な景気対策が打ち出されなかったことや、米中対立の警戒感などを背景に下落しました。

債券市場* <主要国の債券市場は概ね上昇、日本債は下落>

ドイツ債はECB理事会において年央の利下げ開始が示唆されたことなどを背景に上昇しました。日本債は日銀高官が物価目標の実現が見通せるようになってきたとの発言をしたことや、主要企業が春闘において大幅な賃上げを行なう姿勢を示したことなどを経て、早期政策正常化が意識されたことなどを背景に下落しました。

為替市場 <主要国通貨は対円で上げ下げまちまち>

米ドルは日銀が緩和的な金融政策を維持するとの見通しを示唆したことなどから日米金利差の拡大期待が高まりをみせたことを背景に対円で上昇しました。スイス・フランは中央銀行が政策金利を引き下げたことなどを背景に対円で下落しました。

ベンチマークの日本円1ヵ月TIBORの当月リターンは、+0.01%でした。

*株式市場はMSCI World Index(円ヘッジベース)、債券市場はFTSE世界国債インデックス(円ヘッジ・円ベース)の動きについてコメントしています。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ パフォーマンス <月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は+1.51%となり、ベンチマークを1.50ポイント上回りました>

ファンド収益率の内訳は、株式部分-0.34%、債券部分+1.18%、通貨部分+0.66%でした。株式部分では買い建てていたイタリア株、ドイツ株、オランダ株、スイス株はプラスに寄与しましたが、売り建てていたスペイン株、カナダ株、日本株はマイナスに影響しました。債券部分では買い建てていた英国債、ドイツ債はプラスに寄与しましたが、売り建てていたカナダ債、豪州債はマイナスに影響しました。通貨部分では売り建てていたスイス・フラン、ニュージーランド・ドルはプラスに寄与しましたが、買い建てていたスウェーデン・クローナ、売り建てていた米ドルはマイナスに影響しました。なお、信託報酬や資金移動などの影響によるその他要因が+0.01%でした。

○ 運用経過

◆株式部分: スペイン株は市場間ギャップ縮小の観点から魅力度が上昇、一部買い戻しました。一方、豪州株はボラティリティ(価格変動性)の観点から魅力度が低下、さらに売り建てしました。

◆債券部分: ドイツ債は相対的な長短金利差の観点から魅力度が上昇、さらに買い建てしましたが、月末にかけて一部売却しました。一方、米国債はマネーサプライの相対的な上昇から魅力度が低下、さらに売り建てしました。

◆通貨部分: ユーロは株式市場への資金流入期待から魅力度が上昇、さらに買い建てしました。一方、豪ドルは貿易輸出額の相対的な減少から魅力度が低下、一部売却しました。

◆マザー組入比率: 当ファンドはマザーファンド「グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド」を高位に組み入れるファンドです。マザー組入比率は99%程度を維持しました。

*「魅力度」とはシステマティカ・インベストメンツ社のモデルにおいて、各資産の割安度・割高度を評価するスコアです。

今後の運用方針 (2024年4月5日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○株式: フランス株は市場間ギャップ縮小の観点から魅力度が上昇、さらに買い建てする方針です。一方、英国株は市場間ギャップ縮小の観点から魅力度が低下、さらに売り建てする方針です。

○債券: カナダ債は相対的な長短金利差の観点から魅力度が上昇、一部買い戻しする方針です。一方、ドイツ債は相対的な長短金利差の観点から魅力度が低下、一部売却する方針です。

○通貨: スイス・フランは株式市場への資金流入期待から魅力度が上昇、一部買い戻しする方針です。一方、米ドルは株式市場からの資金流出懸念から魅力度が低下、さらに売り建てする方針です。

※MSCI World Index(円ヘッジベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※FTSE世界国債インデックス(円ヘッジ・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村グローバル・アセット・モデル・ファンド(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。